

令和3年度 アゴラセミナー I b 「環境・防災」

「和歌の浦干潟を教材とした環境体験学習による

地域資源としての干潟の多面的な役割と課題の抽出」

大阪市立大学大学院工学研究科 遠藤 徹

演習の概要

和歌の浦干潟は和歌川(和歌山県)の河口に広がる天然の干潟で、万葉集にも詠まれ古くから豊かな自然環境が育まれる海辺である。現代では漁業活動が営われていたり、潮干狩りや海水浴場としての観光利用、環境学習の場として活用され、地域にとって貴重な地域資源となっている。本事業では、和歌の浦干潟を教材として、①生き物観察やシーカヤックによるレジャー体験により干潟の価値を体感するとともに、②NPOによる環境保全活動や地元の小学校と漁業者によるアサリの食害対策の視察を通して干潟が抱える課題について学習したうえで、③和歌の浦干潟以外の海辺で実施されている環境保全の事例を調査し、発表会で調査した成果を発表することで様々な地域課題について共有した。



環境体験学習

和歌の浦干潟で生き物調査とカヤック体験！



潮の満ち引きで干潟を繰り返す干潟には多様な生き物が生息しています。たくさんの生き物が生活することで、水質浄化や食料供給など、我々の生活を支える様々な生態系サービスが生まれます。体験学習では、実際にどんな生き物が生息しているのかを観察したり、シーカヤックで干潟内を移動し、海からの景色を楽しみました。

地域活動の視察

ビーチクリーン活動とあさり姫プロジェクトの視察！



ビーチクリーン活動: 砂浜に漂着する海洋ごみが世界的な問題になっています。和歌の浦でもNPOが主体となってごみの清掃活動が行われており、地元の小学生といっしょに実施しているビーチクリーン活動の様子を見学させていただきました。

あさり姫プロジェクト: 和歌の浦は潮干狩りの名所でしたがナルトビエイによる食害が問題となっています。あさりを食べられないように竹筒で作ったあさりの保護区の様子を視察しました。

成果発表会

地域課題の情報共有



ZOOMで中継しながら、みんなが調べた環境保全の事例について発表しました。

受講生の感想



経済学部 A君

学部の専門的な知識や理論の勉強をして、いろんな側面から海辺の価値を経済学的に分析してみたいと感じた。また、このセミナーを受講して、都市と海辺の距離感が近くなったと感じるようになった。



文学部 Bさん

干潟はこれまで遊ぶ場所ではなかったですが、海の生態系にとって重要な役割を持っていると知り、見方が変わりました。生き物がよりかわいく見えるようになりました。



文学部 Fさん

コロナの影響でアゴラセミナーはZOOMを通しての授業ばかりだったが、実際にメンバーが顔を合わせる機会があったのはとても嬉しく、またレクリエーションを通してさらに全体の団結感や自身の学びへの意欲が高まった。



生活科学部 Dさん

干潟はただただ自然にできて自然になくなるものだと思っていましたが、守っていくことも大切だということを知りました。もともと海に対しては興味がありませんでしたが、このクールを通して海と触れ合い学ぶことで、海の大切さを実感しました。



商学部 E君

以前は都市部の海辺についてあまり関心はなかったが、受講する中で、都市部の海辺の環境保全がより注目され、活用されるべきだと考えました。



生活科学部 Fさん

食料やレクリエーションの場、過ごしやすい環境など様々な恩恵を海から受けているということを学んだ。また、海を守るために全国で地元の人やボランティアによって活動が行われているということを学んだ。